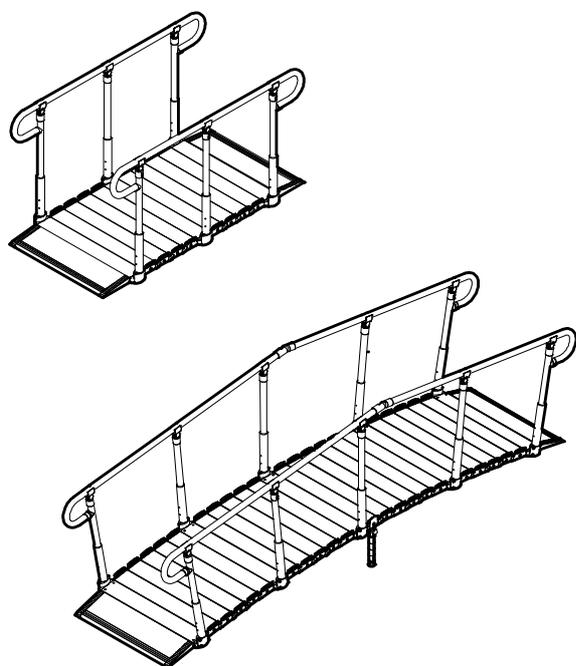


微笑 ベストサポート手すり 微笑の撫子

取扱説明書 保証書

このたびは、「ベストサポート手すり 微笑の撫子」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本書には、この製品の組み立て方と使い方、ならびに使用上の注意事項について記載しています。使用者および介助者の方は、ご使用前によくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになったあとは、お使いになられる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。



もくじ

使用上のご注意 . . . 1 ~ 2

仕様 3

各部のなまえ・材質 . . . 4

組立手順 5 ~ 12

ご使用方法 13

お手入れ方法 14

保証書 15

用途	歩行者・歩行車・車いす等で段差の上り下りを補助するための手すりです。それ以外の用途には使用しないでください。
特徴	5cm間隔・3段階で手すりの高さが調節できます。 ベースプレートの有効幅が59cmと69cmの2種類あります。

使用上のご注意

ここでは、製品を安全に使用していただくために特に守っていただきたい注意事項を記載しています。ご使用の前に必ず読んでいただき、理解したうえでご使用いただきますようお願い申し上げます。

 警告	この表示の内容を無視して誤った使い方をすると死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示の内容を無視して誤った使い方をすると傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される内容を示しています。

取扱上のご注意

 警告	<ul style="list-style-type: none">・この製品は、歩行者、歩行車、車いすが段差を移動することを補助するための据え置きタイプの手すりです。そのほかの用途で使用しないでください。・手すりの最大耐荷重は120kg、ベースプレートの最大耐荷重は250kgです。これを超える使用はしないでください。(補助脚を使用時の場合、ベースプレートの最大耐荷重は300kgです。)・手すりを引き抜く方向や水平方向に力を加えないでください。・ベースプレートや手すりが濡れた状態で使用しないでください。・子どもを遊ばせる遊具として使用しないでください。・手すりや支柱の間に頭や手足を入れないでください。・衝撃荷重はかけないようにご注意ください。・支柱の取付ピッチは、必ず70cm以内としてください。・手すりを片側のみで使用しないでください。・取扱説明書にない分解をしたり、修理・改造をしないでください。
 注意	<ul style="list-style-type: none">・アンカー等でベースを固定しないでください。・走行面が破損する恐れがありますので、ハイヒールや傘のような突起物で衝撃を与えないでください。・設置、収納する際に、指を挟みこまないようにご注意ください。・車いすのフットサポート及び転倒防止金具の調整が不十分な場合は、ベースプレート走行面を傷付けることがあります。接触しないように調整を行った上で使用してください。・手すりにロープを巻きつけ、荷物の搬出入の支え等に使用しないでください。・手すりへ重量物他、物をぶら下げたりしないでください。・移動させる場合は手すりを持たないでください。・結露した場合は、乾いた布などで拭き取ってください。・定期的に点検を行い、ガタツキやねじの緩み、部品の破損がないことを確認してください。

使用上のご注意

 警告	<ul style="list-style-type: none">・ご使用の際は介助者が利用者の状態(安全に使用できる状態にあるか)を確認してください。ご使用になる方の健康状態や体調が変化した場合には、医師や介護士、ケアマネージャーなどの専門家に相談してください。ご使用の際は介助者が付き添って使用することをお勧めします。ご使用に合わない場合は直ちにご使用をおやめください。・予測できない行動をとる。自力で危険な状態から回避することが出来ない方は使用しないでください。ご使用される方の心身の状態や利用環境により、手すりや支柱の隙間に身体の一部を入れる可能性があり、場合によっては生命にかかわる重大な事故につながる恐れがあります。自力で危険な状態から回避することが出来ない利用者(認知症など)の方につきましては、ご使用を控えてください。※重度者(特に介護度3・4・5)の方が利用する場合は、直ちに使用をやめ、医師や介護士、ケアマネージャーなどの専門家に相談し、適切な処置を受けてください。・本製品の設置・収納は必ず介助者が行ってください。・本製品を設置する際には事前に接地面の状態を確認してください。(砂、雪、氷、凹凸面などすべりやすい場所や不安定な場所への設置はしないでください。)・ベースプレート走行面に砂や異物の付着がないこと、傷などの異常がないことを確認してください。・暗い場所での使用はしないでください。・ベースプレートの2段目の底面の傷防止マットを段差の角に当たるように設置してください。(P13:ご使用方法)
---	---

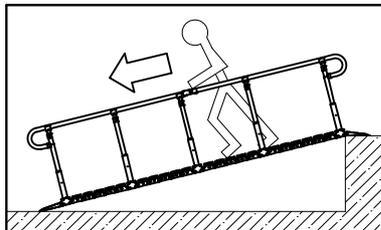
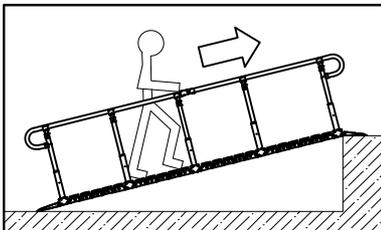
使用上のご注意

 <p>警告</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・手すりにぶら下がり、遊具として使用しないでください。 ・壁補修等のための脚立代わり等に使用しないでください。 ・使用する前に各部を点検した後、使用してください。
 <p>注意</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・長く使用して頂くために、引きずったりしないようご注意ください。 ・固定式でないため設置後の安定性にご確認ください。 ・ベースプレート走行面のみにすべり止め加工を施しています。表裏を確認のうえ使用してください。 ・手すりにロープ等を巻きつけ、荷物移動等の支えに使用しないでください。 ・製品の一部分に剥がれ・傷・変形などの異常や劣化がある場合は、直ちに販売店に修理又は交換を依頼してください。 ・介助者が必要な方が使用する場合は十分ご注意ください。

歩行上・走行上のご注意

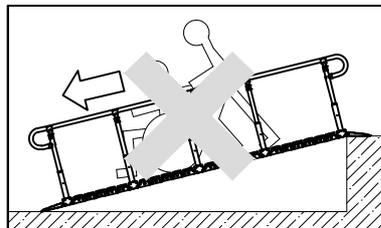
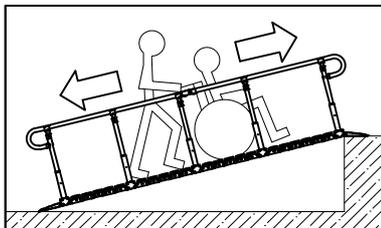
【歩行者使用時】

ベースプレートを上る時は、手すりをもって体を支えながら上がってください。
下るときは手すりを持って体を支えながら降りてください。



【車いす使用時】

ベースプレートを上る時は、介助者が後ろから支えるようにして前向きで上がってください。
下るときは介助者が後ろ向きになり、後ろから支えるようにして降りてください。



 <p>警告</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行者がベースプレートを歩行する場合は手すりの持ちやすい方向に寄り、ゆっくりとまっすぐに進入してください。急いで進入すると、衝撃でベースプレートががたついたり、跳ねたりして危険です。また、ベースプレートに対して極端に片荷になると転倒の恐れがあります。 ・ベースプレートを歩行する方は、滑りにくく安定した履物をご利用ください。 (危険な履物: ハイヒール、ゲタ、サンダルなど) ・車いすや歩行車でベースプレートを走行する場合はベースプレートの中央に寄り、ゆっくりとまっすぐに進入してください。急いで進入すると、衝撃でベースプレートががたついたり、跳ねたりして危険です。また、斜めのまま進入すると脱輪しやすくなり、転倒のおそれがあります。 ・ベースプレートの傾斜角度が急になると危険です。P13「使用する段差の目安」を参考に、適した長さのベースプレートを使用してください。
 <p>注意</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・車いすや歩行車の車輪がサイドエッジに当たらないようまっすぐ走行してください。 ・利用者(歩行者、歩行車を使用している方、車いすに乗っている方)と介助者以外は乗らないでください。

仕様

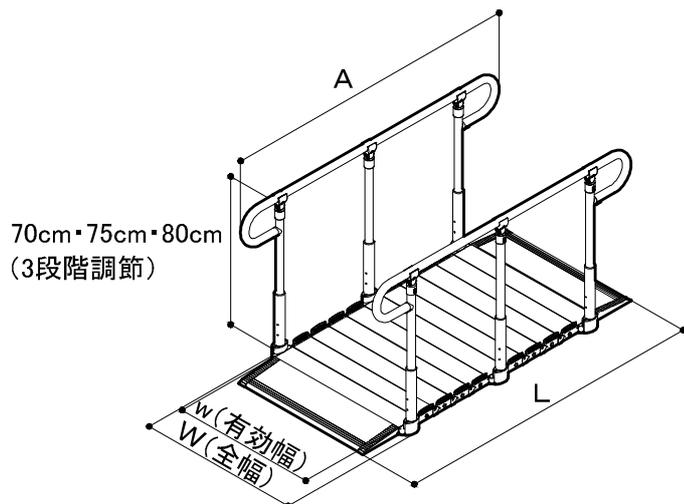


図: 636-M150

70cm・75cm・80cm
(3段階調節)

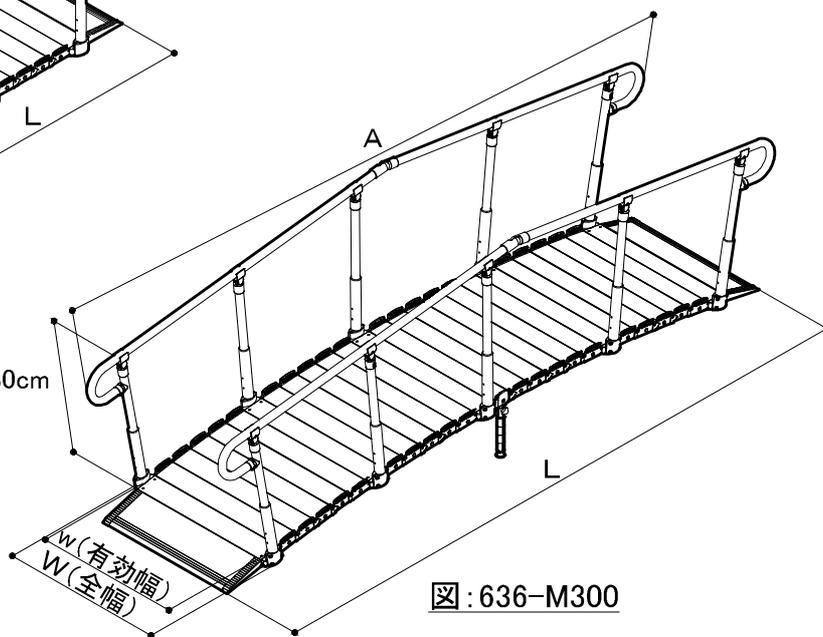


図: 636-M300

品名	品番コード	全幅(W)	有効幅(w)	ベースプレート長さ(L)	手すり長さ(A)
ベストサポート手すり 微笑の撫子	636-S100	67.5	59	100	90
	636-S150			150	140
	636-S200			200	190
	636-S250			250	240
	636-S300			300	290
	636-M100	77.5	69	100	90
	636-M150			150	140
	636-M200			200	190
	636-M250			250	240
	636-M300			300	290

最大耐荷重

ベースプレート: 250kg(補助脚を使用した場合300kg)

手すり: 垂直 120kg

【単位: cm】

組立手順

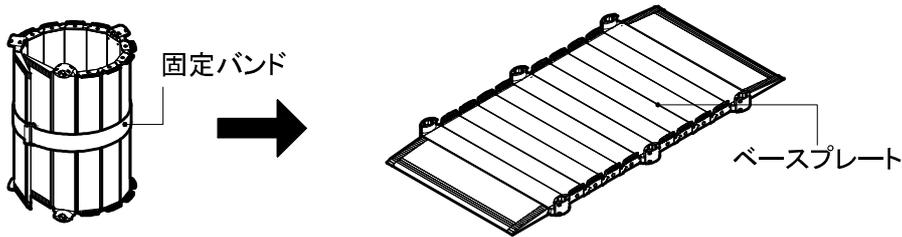
組立上のご注意



- ・組み立て、高さ調節は納入業者や介助者の方に行っていただくようお願いします。
- ・ねじはねじ穴に対してまっすぐになるように入れてください。
- ・六角レンチは六角頭に対してまっすぐ差し込んでください。
- ・六角レンチを回す時は、力が強すぎるとねじ頭が破損するおそれがあります。

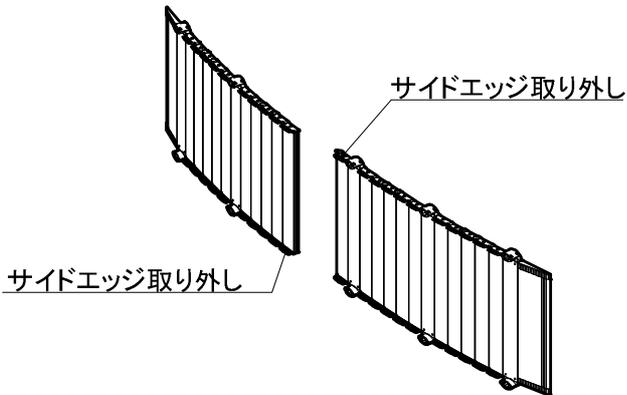
①ベースプレートの設置

ベースプレートを設置したい場所まで持ち運んでください。
固定バンドを外し、ベースプレートを立てた状態で左右に広げてください。
そして、設置場所近くの平坦なところに仮置きしてください。



※ベースプレート長さ250、300の場合、工場出荷時に分割されているため
下記の手順で組立してください。

分割されているベースプレートの端のサイドエッジを下図を参考に2カ所取り外してください。

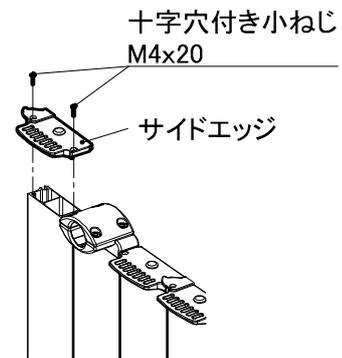


⚠注意

作業をやりやすくするために、床に段ボールなどのやわらかいものを敷き、そのうえでベースプレートを横に立てた状態から作業を行ってください。

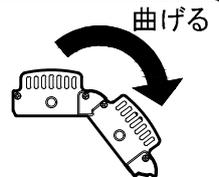
ネジ山が壊れるおそれがありますので電動ドライバーや電動インパクトドライバー等は使用しないでください。

サイドエッジ取り外し 詳細



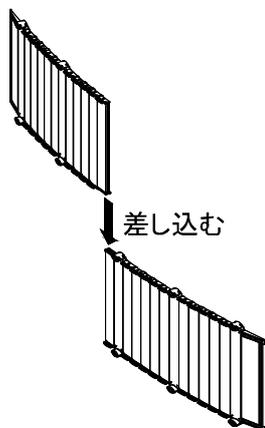
⚠注意

ベースプレートを曲げる
ことによってサイドエッジ
で隠れているねじが取り
外せるようになります。

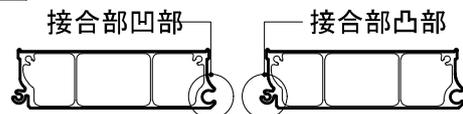


組立手順

接合部の凸部凹部に気を付けて分割されたベースプレートを差し込んで組み合わせてください。
組み合わせた後、取り外したサイドエッジプレートと同じ場所に取り付けてください。



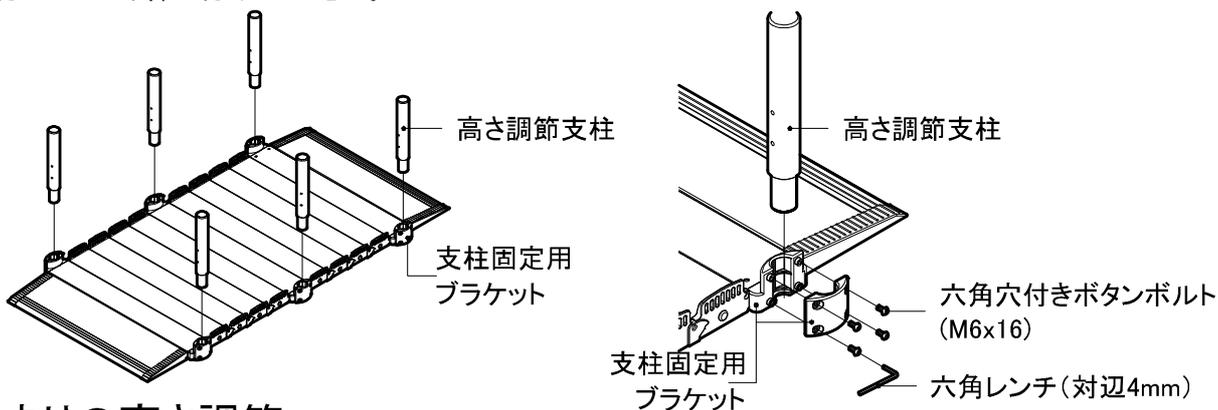
注意



接合部の凸部、凹部に気を付けて差し込んでください。

②ベースプレートと高さ調節支柱の取り付け

支柱固定用ブラケットがある場所に高さ調節支柱を入れて六角穴付きボタンボルト(M6x16)を緩みがないよう最後までしっかり締め付けてください。

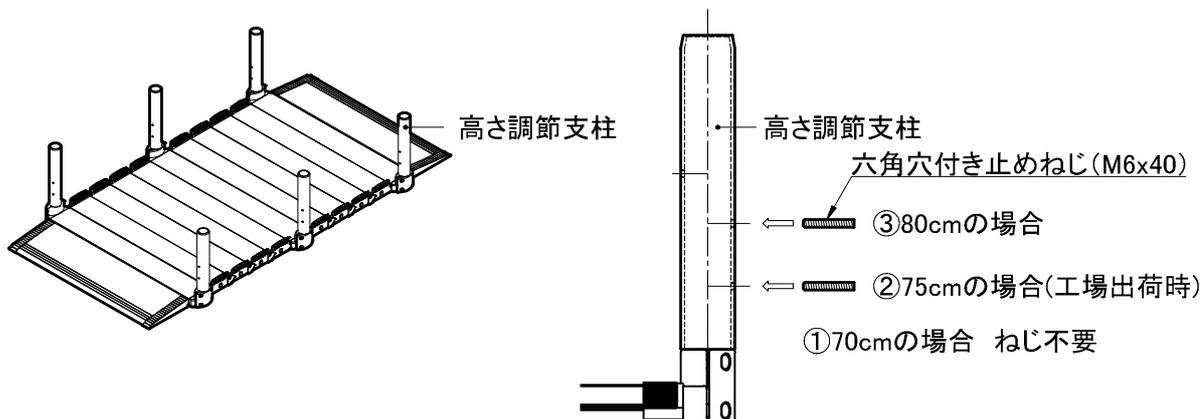


③手すりの高さ調節

手すりの高さは70cm,75cm,80cmの3段階で位置決めができます。

手すりの高さを決め、高さ調節支柱に六角穴付き止めねじ(M6x40)を付属の六角レンチ(対辺3mm)で締め付けてください。奥まで締め付け、高さ調節支柱よりねじ頭が出ていないことを確認してください。

六角穴付き止めねじ(M6x40)は緩みがないよう最後までしっかり締め付けてください。



組立手順

④手すりと支柱(端)の組み立て

支柱(端)から取付ブラケット(A)(B)を六角レンチ(対辺4mm)で取り外してください。

支柱(端)の手すり受けへ手すりのエンドキャップを乗せかけてください。

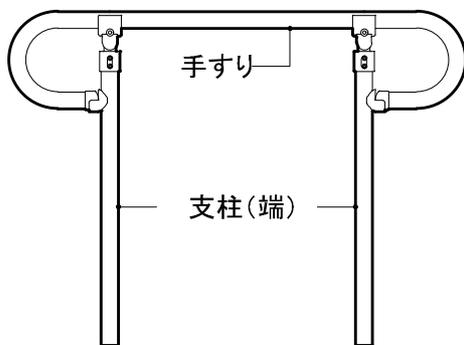
(図【1】参考)

手すりと支柱(端)を組み立ててください。

(図【2】参考)

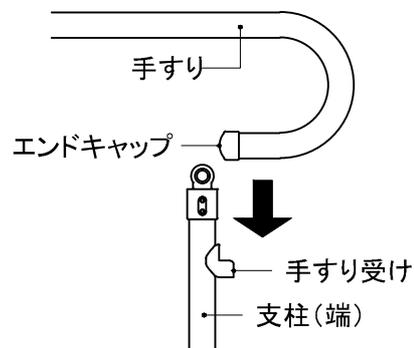
※もう一方の手すりと支柱(端)も同様に取り付けてください。

ベストサポート手すり 微笑の撫子 1台につき手すりが2組必要になります。

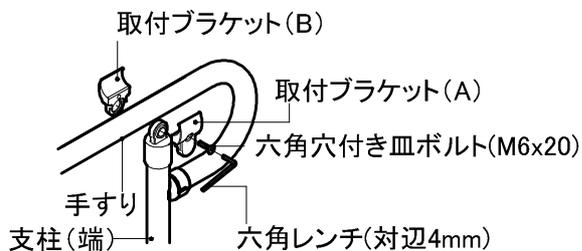


注意
2本の支柱(端)が平行になるように組み立てしてください。

図【1】



図【2】

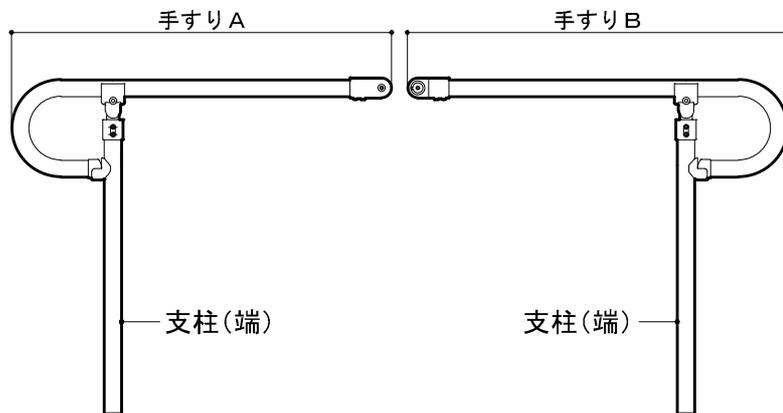


取付ブラケット(A)(B)で手すりと支柱(端)を挟み込み、六角穴付き皿ボルト(M6×20)を六角レンチ(対辺4mm)でしっかり締め付けてください。

※手すり長さ「190」「240」「290」の場合
(ジョイントブラケットがある場合)

ジョイントブラケットで分かれているため、それぞれの手すり端部に支柱(端)を取り付けてください。
(上記手順を参照し取り付けてください。)

手すりAと手すりBがセットで1組となります。



手すりA、手すりBの長さ

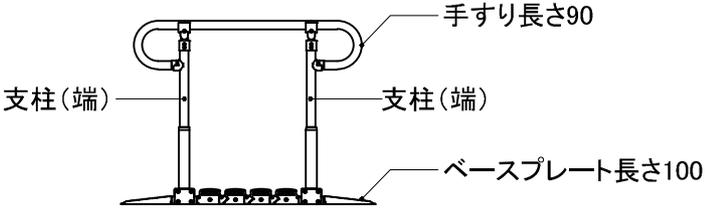
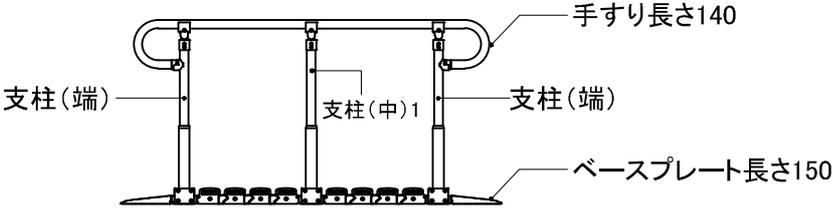
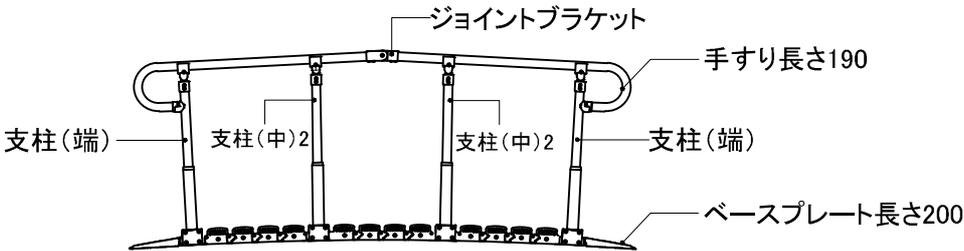
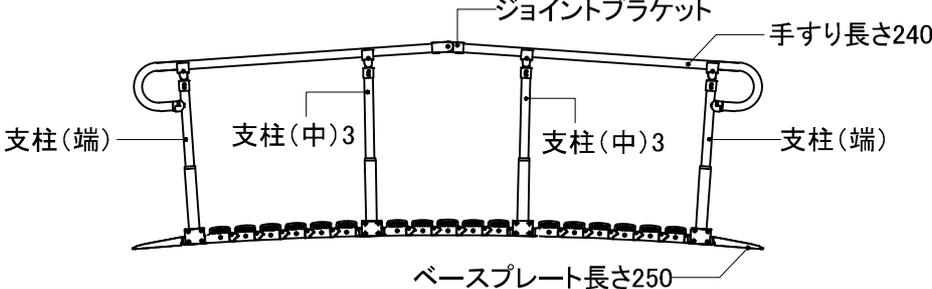
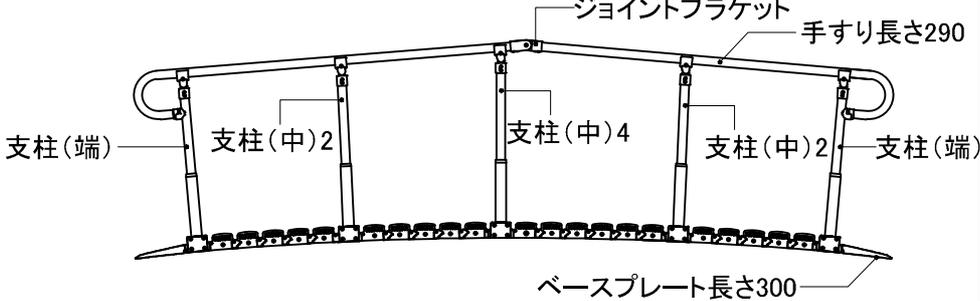
手すりの長さ	手すりA	手すりB
190の場合	107	107
240の場合	134.5	134.5
290の場合	169	149

【単位:cm】

組立手順

⑤ベースプレートと手すりと支柱の組み合わせについて

組み立てる製品のベースプレートと手すりと支柱の位置関係を下記表で確認してください。

 注意	支柱(中)は種類により長さが違います。 種類の判別は下端部に識別シールを貼り付けています。  識別シール
636-S100 636-M100	 <p>手すり長さ90 支柱(端) 支柱(端) ベースプレート長さ100</p>
636-S150 636-M150	 <p>手すり長さ140 支柱(端) 支柱(中)1 支柱(端) ベースプレート長さ150</p>
636-S200 636-M200	 <p>ジョイントブラケット 手すり長さ190 支柱(端) 支柱(中)2 支柱(中)2 支柱(端) ベースプレート長さ200</p>
636-S250 636-M250	 <p>ジョイントブラケット 手すり長さ240 支柱(端) 支柱(中)3 支柱(中)3 支柱(端) ベースプレート長さ250</p>
636-S300 636-M300	 <p>ジョイントブラケット 手すり長さ290 支柱(端) 支柱(中)2 支柱(中)4 支柱(中)2 支柱(端) ベースプレート長さ300</p>

636-*100,636-*150の組立はP9になります。

636-*200,636-*250,636-*300の組立はP10~P13になります。

組立手順(636-*100、636-*150の場合)

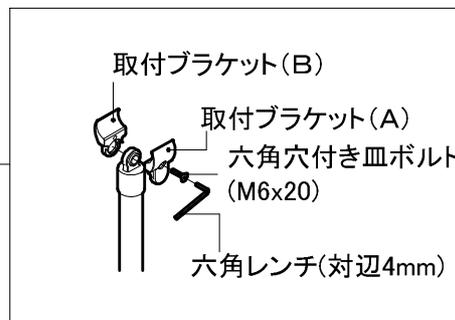
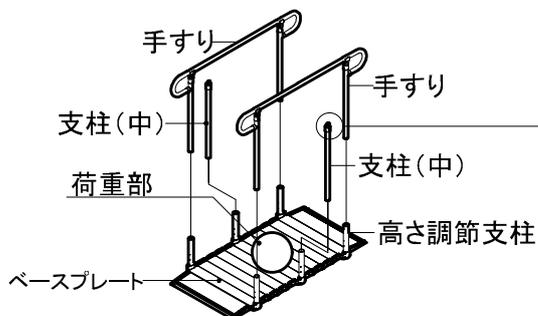
⑥手すりとベースプレートを組み合わせ

手すりとベースプレートを組み立ててください。

6-1.(636-*150の場合)支柱(中)1を高さ調節支柱へ差し込んでください。

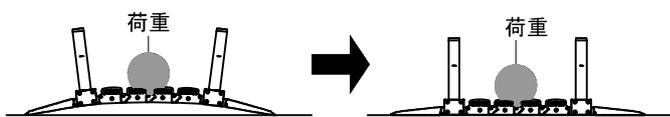
支柱(中)1の取り付けブラケット(A)(B)を取り外してください。

6-2.手すりを高さ調節支柱へ差し込んでください。

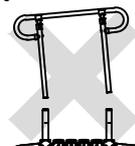


⚠ 注意

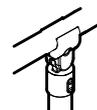
ベースプレートがアーチ状になっているため手すりの取り付けが難しい場合は、作業者がベースプレート中央に少し荷重を掛け、手すりを取り付けてください。



支柱を斜めにして高さ調節支柱へ差し込まないでください。



支柱ブラケットは内外の向きがありません。作業がしやすい方向へ向けて設置してください。



⑦手すりの固定

※636-*150の場合

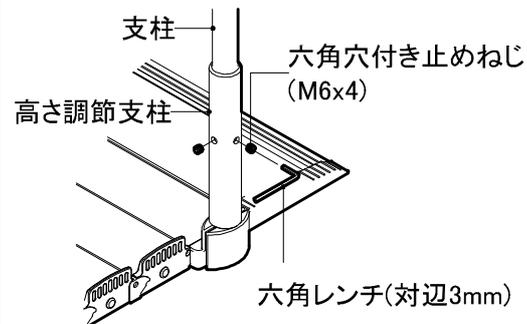
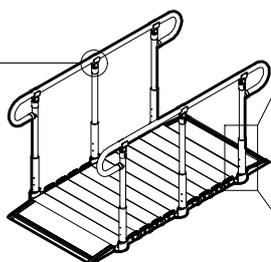
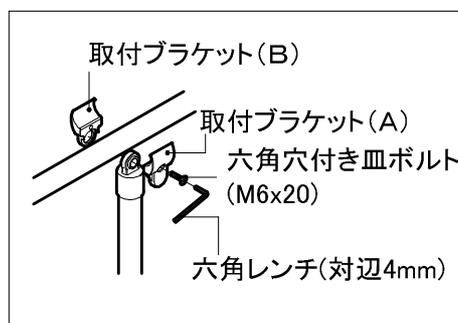
取付ブラケット(A)(B)を手すりに挟み込んで六角穴付き皿ボルト(M6x20)を緩みがないように最後までしっかり締め付けてください。(支柱(中)1にそれぞれ取り付けてください。)

高さ調節支柱と支柱を固定してください。

六角穴付き止めねじ(M6x4)を緩みがないように最後までしっかり締め付けてください。

(高さ調節支柱一本につき2ヶ所)

高さ調節支柱からねじ頭が出てないことを確認してください。



⚠ 注意

組立後、ガタツキ、ねじの緩みのないことを必ず確認してください。

組立手順(636-*200、636-*250、636-*300の場合)

⑥手すりとベースプレートを組み合わせ

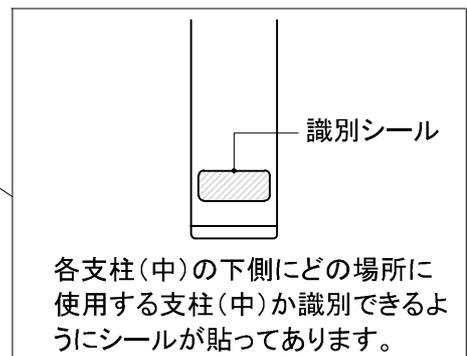
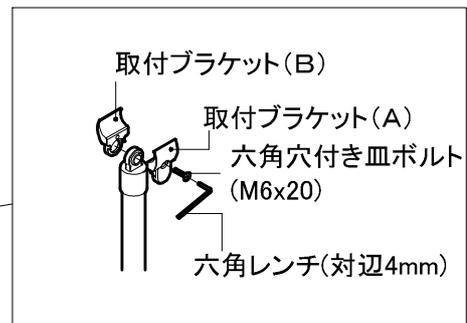
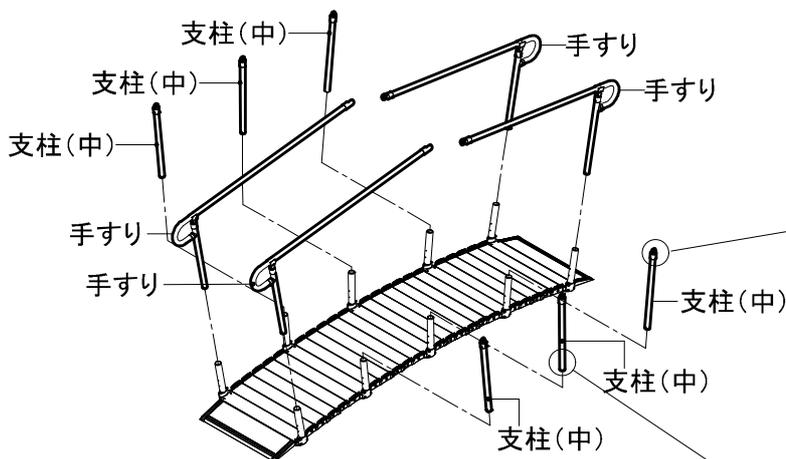
手すりとベースプレートを組み立ててください。

6-1.支柱(中)2~4を高さ調節支柱へ差し込んでください。

支柱(中)2~4の取り付けブラケット(A)(B)を取り外してください。

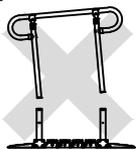
取り付ける支柱(中)の位置はP8を参照してください。

6-2.手すりを高さ調節支柱へ差し込んでください。

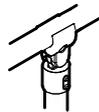


⚠️ 注意

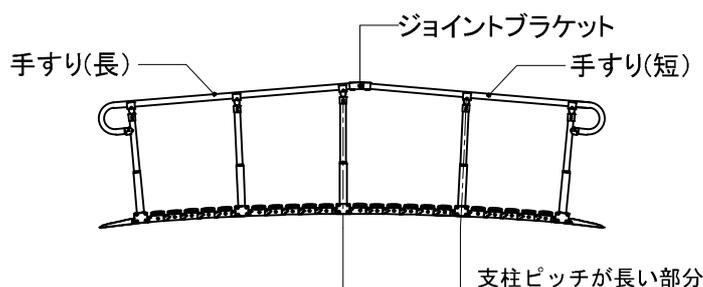
支柱を斜めにして高さ調節支柱へ差し込まないでください。



支柱ブラケットは内外の向きがありません。作業がしやすい方向へ向けて設置してください。



636-*300の場合、手すりの長さが違うためベースプレートとジョイントブラケットの位置関係に注意して取り付けてください。



組立手順(636-*200、636-*250、636-*300の場合)

⑦手すりの固定

7-1.分割された手すりのジョイントブラケットを合わせて六角穴付き皿ボルト(M6x25)で緩みがないように最後までしっかり締め付けて接続してください。

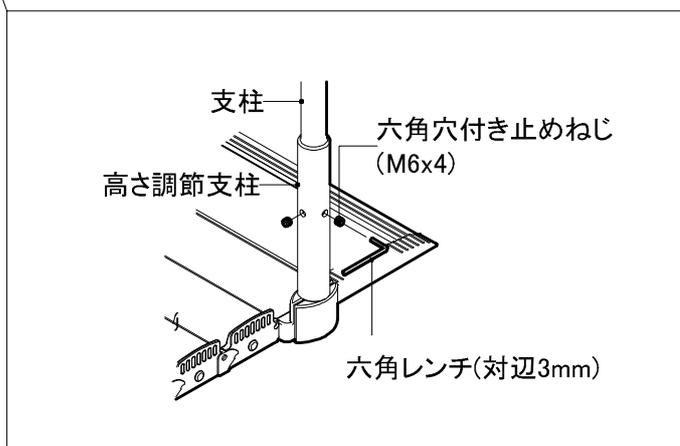
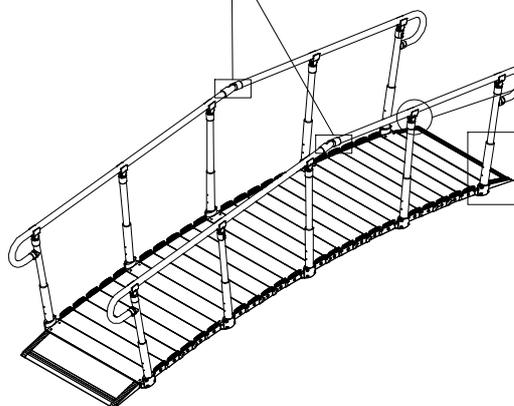
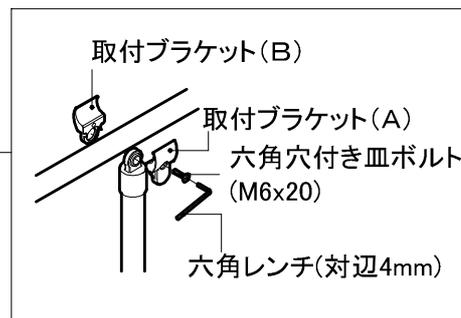
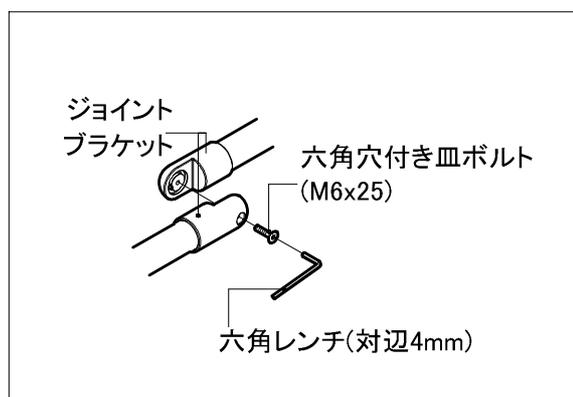
7-2.取付ブラケット(A)(B)を手すりに挟み込んで六角穴付き皿ボルト(M6x20)を緩みがないように最後までしっかり締め付けてください。(支柱(中)にそれぞれ取り付けてください。)

7-3.高さ調節支柱と支柱を固定してください。

六角穴付き止めねじ(M6x4)を緩みがないように最後までしっかり締め付けてください。

(高さ調節支柱一本につき2ヶ所)

高さ調節支柱からねじ頭が出ていないことを確認してください。



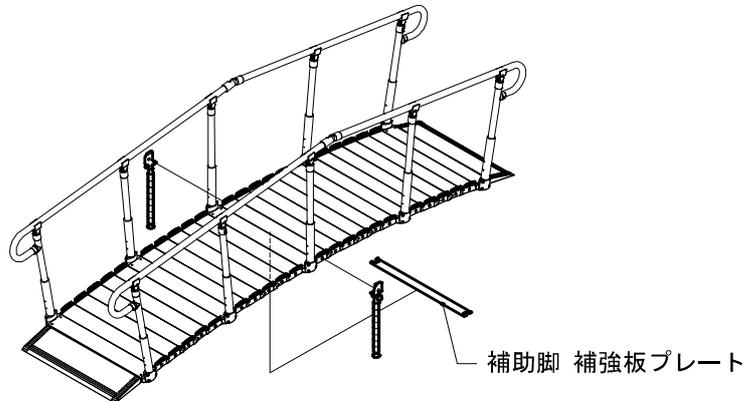
⚠ 注意

組立後、ガタツキ、ねじの緩みのないことを必ず確認してください。

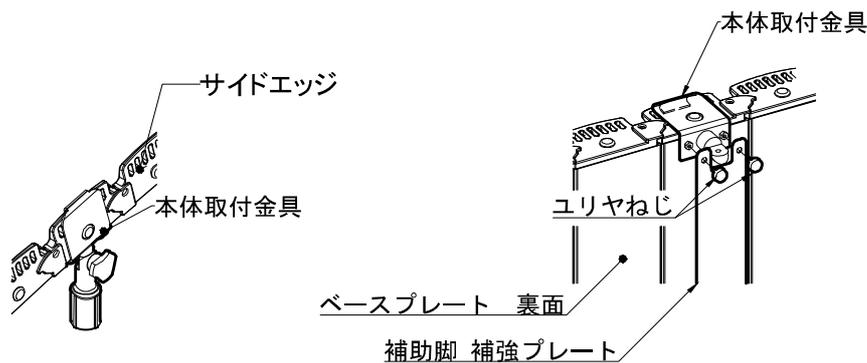
組立手順(636-*200、636-*250、636-*300の場合)

⑧補助脚の取付

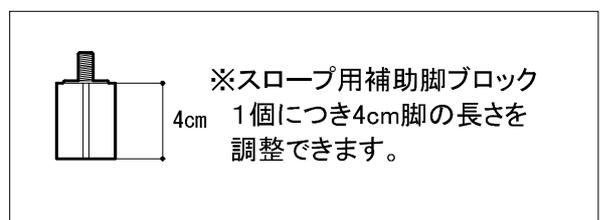
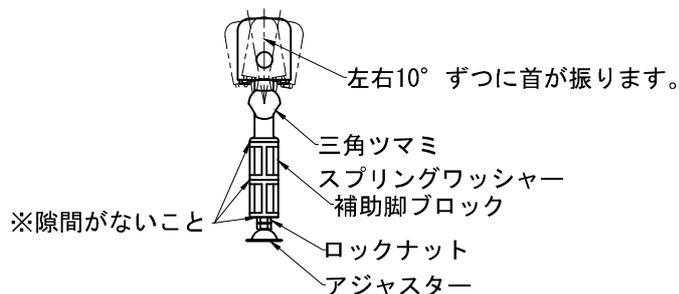
ベースプレート長さ200cm、250cm、300cmに付属しています。
ベースプレート長さ200cm以上の場合は補助脚を取り付けてください。



- 8-1. ベースプレートの中央あたりにあるサイドエッジに本体取付金具を掛けてください。
ユリアねじは補助脚 補強プレートを通し、本体取付金具へ強く締めてください。

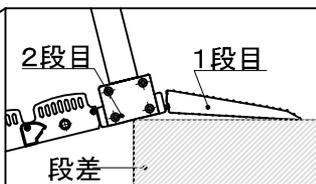
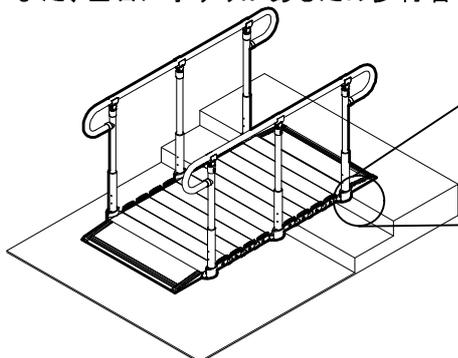


- 8-2. 三角ツマミを緩めると首振り部分にズレ防止の凹凸があり左右10° ずつ回転できます。
地面に対して垂直に近い方に凹凸を合わせて三角ツマミを強く締めて固定してください。
補助脚の高さについて、必要な高さに応じて補助脚ブロックの取付数を調整し、アジャスターのボルトで地面までの微調整を行ってください。
アジャスターのボルトを伸ばした場合は、付属の板スパナ13を使用し、必ずロックナットを強く締めて固定してください。



ご使用方法

困っていた段差の上り下りを楽に移動することができます。
また、左右に手すりがあるため歩行者でも手すりを利用して楽に移動することができます。



2段目の底面の傷防止マットを段差の角に当たるように設置してください。

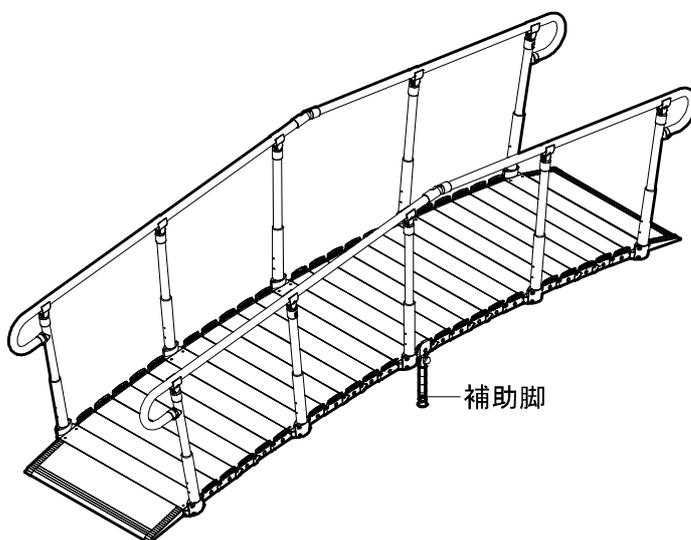
⚠️ 注意

ベースプレートに上下方向はありません。
どちらをかけても使用できます。

●使用する段差の目安(車いすの場合)

歩行者、歩行車をご使用の場合は、使用者が無理せず進める角度の範囲でご使用ください。

ベースプレート長さ	自力走行(約5度)	介助者同伴(約10度)	最大段差(約15度)
100cm	7cm	14cm	21cm
150cm	11cm	23cm	34cm
200cm	16cm	31cm	47cm
250cm	20cm	40cm	60cm
300cm	24cm	49cm	72cm



⚠️ 注意

ベースプレート長さ200cm以上は補助脚を使用してください。
組立手順はP12を参照してください。

お手入れ方法

■ 日常のお手入れ

【手すり、ベースプレート、支柱】

水またはぬるま湯に浸した布をよく絞ってお手入れしてください。

汚れがある場合は、薄めた中性洗剤を含ませた布で拭き取ったあと、水拭きし、最後に乾拭きしてください。

⚠ 注意

下記のもの、お手入れに使用しないでください。

- ・酸性洗剤、塩素系洗剤、アルカリ性洗剤
- ・シンナー、油類などの有機溶剤
- ・クレンザー、磨き粉など、粗い粒子を含んだ洗剤
- ・研磨剤入りのスポンジ、たわし、ブラシ

■ 消毒方法

消毒は納入業者、または消毒施設のある業者に依頼してください。

アルコール清拭消毒、逆性石鹼清拭消毒などを推奨します。

⚠ 注意

下記のもの、消毒に使用しないでください。

オゾンガス、ホルムアルデヒドガス、オートクレーブ(高圧蒸気滅菌器)

■ 点検

定期的に点検を行い、ガタツキ、ねじのゆるみ、締め忘れや破損、保護マットのめくれ、その他異常がないか確認してください。

手すりの中に水がたまった場合

手すりを支柱から取り外し、手すり端部の水抜き穴より水を出してください。



⚠ 注意

異常があった場合は、直ちに使用を中止し、施工業者又は納入業者へご相談ください。

保証書

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。
お客様が取扱説明書等の注意書きに従った使用状態で、保証期間内に破損や故障をした場合に本保証書記載内容により無料修理いたします。

1. 下記に該当する場合は、保証期間内でも有料修理になります。
 - 1) 使用上の誤りや不注意、改造、修理などによる故障又は損傷。
(本来の用途以外で使用した場合、設置ミス等の誤使用)
 - 2) 弊社が示す説明書に基づいた組立て、施工、維持管理を行わなかった場合の故障または損傷。
 - 3) 時間の経過や部品の消耗などによる不具合。
 - 4) 火災、地震、落雷、風水害、塩害、ガス害、異常電圧など天災地変による故障または損傷。
 - 5) お買い上げ後の移動や落下などによる故障または損傷。
 - 6) その他、製造者の責任でない原因や製造者以外の故意・過失によると判断される故障または損傷。
 - 7) 本保証書のご提示がない場合。
 - 8) 本保証書のお買い上げ日、販売店の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
2. 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管して下さい。
3. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

<個人情報の取扱いについて>

- 1) 保証書にご記入いただいた住所・氏名などの個人情報は、保証期間内のサービス活動やその後の安全点検活動のために利用いたします。
本書にてお預かりするお客様の個人情報をお客様の同意を得ることなく、第三者に提供または開示いたしません。
- 2) 修理のために、当社から修理委託している保守会社などに必要なお客様の個人情報を委託する場合、当社と同等の水準でお客様の個人情報を取り扱うように管理いたします。

お買い上げ日	年 月 日	お客様
保証期間	1年間	ご住所 〒
品名		
販売店		ご氏名 TEL

上表に記入のない場合は有効となりますので、必ず記入の有無をご確認下さい。もし記入のない場合はお買い上げの販売店にお申し出ください。

修理・取扱などのご相談は、まずお買い上げの販売店にお申し付けください。

※商品の改良のため、仕様や外観、価格は予告なく変更する場合があります。

053-5003C



株式会社 **シコク**

本社工場

〒769-2402 香川県さぬき市津田町鶴羽1118-15
TEL(0879)42-1111(代) FAX(0879)42-1112

<http://www.sk-shikoku.co.jp>